

おいしい 自然園

サンゴ化石のふるさと 〜丹沢山地〜

No.90

化石は、入っていた地層のできた時代や環境を
教えてくれる大切な証言者です。丹沢山地には、
各種のサンゴをはじめ、石灰藻^{せっかいそう}、大型有孔虫、オ
ウムガイ、貝などの化石が時々見つかります。た
だ、地層の中にきれいに入って見つかるものは少
なく、化石の入った岩石が山から崩れ落ちて、そ
れが水によって運ばれて河原で見つかることがあ
ります。

酒匂川でも、洪水の後などに丹沢のサンゴや石
灰藻などの化石が入った石が見つかることがあり
ます。化石の入った岩石がいつか酒匂川に流れ込
む川として、白石沢^{しらいしざわ}（山北町中川）、河内川^{こうちがわ}（山
北町湯触^{ゆぶれ}）、皆瀬川^{みなせがわ}（山北町人遠^{ひととお}）、滝沢川（山北
町滝^{ひさりがわ}）、尺里川（山北町尺里）、中津川（松田町萱沼）、
川音川^{かわねとがわ}（松田町松田惣領）などがあげられます。
特に中津川には、川の両岸に数mにわたって石灰
岩の大きな塊が数カ所見られます。きれいな清流
の中の白色の石灰岩の露出は
圧巻です。この石灰岩の中には
多くのサンゴの破片の化石が
見られます。この石灰岩の破片
が川を下って、川音川、そして、
酒匂川にたどり着くのです。



中津川の石灰岩のかけ

中村俊文（県立生命の星・地球博物館 学習指導員）